

### 京都市基本構想における関連記述

# 環境



～だれもが安心してくらするまち～

わたしたち京都市民は，日々のくらしの場が安全であり，緑豊かで，環境への負担も少ないようなまちをめざす。

(略) 経済活動を適正生産・適正消費・最少廃棄の循環経済のなかで営み，日々のくらしのなかで環境に負担をできる限りかけない生活を送ることにより，持続可能なまちをつくっていく。

### これまでの主な取組

地球温暖化対策条例を制定(H16)，京都市地球温暖化対策計画の策定(H18)など，温暖化対策推進のための基盤づくり。平成21年1月には，国により「環境モデル都市」に選定され，同3月に「環境モデル都市行動計画」を策定

平成16年12月制定

#### 京都市地球温暖化対策条例

地球温暖化対策に特化した全国初の条例。温室効果ガスの排出量を平成22年までに平成2年比で10%削減することを目標に掲げ，京都市，市民，事業者及び観光旅行者その他の滞在者の責務を明記。



環境学習と環境保全活動の拠点となる環境保全活動センター(京エコロジーセンター)

家庭ごみ有料指定袋制の導入やプラスチック容器包装材の分別収集の全市拡大による，ごみの減量，分別・リサイクルの取組の拡大

平成18年10月導入

#### 家庭ごみ収集における有料指定袋制



京都市家庭用指定ごみ袋

平成21年

#### 環境モデル都市選定，環境モデル都市行動計画策定

「環境モデル都市」  
温室効果ガスを大幅に削減する社会一低炭素社会一の実現に向け，高い目標を掲げて先駆的な取組にチャレンジする都市

本市の目標  
将来に向けた温室効果ガスの大幅な削減目標として，2030年までに1990年レベルから40%削減，2050年までに60%削減とする中長期目標を設定。

平成19年10月開始

#### プラスチック製容器包装の分別収集全市拡大

このマークが表示されているものが「プラスチック製容器包装」に該当します。



### 論点1 現状と課題

- ◇ 活かすべきチャンス(追い風)は？ 放置できない問題(向かい風)は？
- ◇ 活用できる資源(強み)は？ 克服すべきこと(課題)は？

#### 外部環境分析(施策を推進するうえで，追い風又は向かい風となる変化や社会的な状況)

追い風	向かい風
<p>&lt;環境保全&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地球温暖化対策，循環型社会形成，生物多様性の保全など各種の法整備が進んでいる。</li> </ul> <p>&lt;低炭素社会&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>政府は温室効果ガスの排出量を2020年までに1990年比で25%削減する目標を掲げている。</li> <li>ポスト京都議定書の地球温暖化対策に関する国際的枠組みを構築する必要があり，合意形成に向けた努力が続いている。</li> <li>次世代自動車の普及促進に向けた国の積極的な方向性が示されている。</li> </ul> <p>&lt;循環型社会&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国において第二次循環型社会推進基本計画が策定された(平成20年3月)。</li> <li>バイオマス活用推進基本法が成立した(平成21年6月)。</li> </ul>	<p>&lt;環境保全&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大気環境汚染は，経済発展の著しい中国など東アジアの影響を受ける。</li> <li>年間5,000万人を超える観光客を迎える中，観光バスや自動車の流入が大きい。</li> </ul> <p>&lt;低炭素社会&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地球温暖化に伴い気候変動が生じ，自然災害が多発している。</li> </ul> <p>&lt;低炭素社会・循環型社会&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>暮らしと経済・サービスの変化に伴い環境負荷が増大している。</li> </ul>

#### 京都の現況分析(他都市等と比較して，京都の現況が優位又は劣位である事項)

京都の強み	京都が解決・克服すべき課題
<p>&lt;環境保全&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>環境の保全について，本市，事業者，市民，滞在者の責務を明らかにした市環境基本条例を策定している。</li> <li>大気汚染に係る市環境保全基準は，二酸化窒素など3項目について，国よりも厳しい基準を設けている。</li> <li>京都発祥のKESは，中小企業にも取り組みやすい環境マネジメントシステムの普及に牽引的な役割を果たしている。</li> </ul> <p>&lt;低炭素社会&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地球温暖化対策に特化した全国初の条例を制定した(平成16年12月)。</li> <li>環境モデル都市に選定された(平成21年1月)。</li> <li>最先端の環境技術の研究開発を推進できる企業や大学が集積している。</li> <li>1200年の歴史に培われた「もったいない」「しまつの心」。</li> </ul> <p>&lt;循環型社会&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>家庭ごみ有料指定袋の導入(平成18年10月)や，プラスチック製容器包装分別収集の全市拡大(平成19年10月)により，ごみの総排出量が減少している。</li> <li>地域単位での使用済みてんぷら油，古紙等の回収や，地域に密着したごみ減量活動など，市民の環境に配慮する意識が高まっている。</li> <li>全国に先駆けて使用済みてんぷら油からのバイオディーゼル燃料化事業などに取り組むなど，バイオマス利活用の取組で大きな成果を挙げている。</li> <li>効果的なレアメタルのリサイクルの仕組みづくりを目指すため，本市において，国の「レアメタルリサイクルモデル事業」を実施している。</li> </ul>	<p>&lt;環境保全&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>厳しい経済状況から企業のISOやKES取得が鈍っている。</li> </ul> <p>&lt;低炭素社会&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>民生家庭部門，民生業務部門の温室効果ガス排出量が大幅に増加している。</li> </ul> <p>&lt;循環型社会&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>京都市は内陸都市であることから新たに埋立処分地を求めることは困難である。</li> <li>ごみの再生利用率が低く，現行の循環型社会推進基本計画に掲げる目標達成に至っていない。</li> <li>事業活動に伴い排出される事業系ごみについては，まだまだ減量，資源化の余地がある。</li> </ul>

## 論点2 政策の基本方向

### ◇ 今後10年間の基本的考え、価値観は？

#### これまでの動き

##### <現在の方向性>

###### 【環境と共生するくらしの実現】

環境基本計画としての「京（みやこ）の環境共生推進計画」を推進し、環境への負荷の少ない持続可能なまち『環境共生型都市・京都』を実現する。

- (1) 国際的連携と地域的取組により脱温暖化社会を目指すまち・京都
- (2) 公害のない健康で安全な環境が保たれるまち・京都
- (3) 自然と共生し、うるおいと安らぎのあるまち・京都
- (4) ごみの減量化を進め、資源を循環的に利用するまち・京都
- (5) すべての主体の知恵と工夫と行動で環境を支えるまち・京都  
(京（みやこ）の環境共生推進計画)

###### 【低炭素社会の構築に向けた取組の推進】

「DO YOU KYOTO?（環境にいいことしていますか?）」を合言葉に、「京都市地球温暖化対策計画」及び「京都市環境モデル都市行動計画」を推進し、低炭素社会の実現を目指す。

- (1) 歩くまち・京都
- (2) 景観と低炭素が調和したまちづくり
- (3) 環境にやさしいライフスタイルへの転換
- (4) イノベーションをはじめとした低炭素型経済・生産活動の発展
- (5) 再生可能エネルギー資源の徹底的活用
- (6) 京都市民環境ファンドの創設  
(京都市環境モデル都市行動計画)

###### 【循環型社会の実現に向けた取組の推進】

循環型社会の実現に向け、「みんなが主役の環境にやさしいまち」の実現を目指す。

- (1) 市民・事業者の連携、協働による地域力を活かしたリデュース、リユース（2R）の推進
- (2) 地域の特性を生かしたリサイクルの仕組みづくり
- (3) 環境負荷や経済性に配慮したエネルギー回収、再資源化、適正処理システムの構築  
(新京都市循環型社会推進基本計画策定に向けた提言について（答申）)

##### <政策を進めるうえでの悩み>

- ・地球温暖化対策をより効果的なものとするためには、国における抜本的な対策が必要不可欠である。
- ・温室効果ガス排出量が増加している部門に対する効果的な施策が必要である。
- ・更なるごみ減量や資源化につながる効果的な施策が必要である。

##### <関連する主なデータ>

- ・主な部門別二酸化炭素排出量の推移
- ・ごみの総排出量、再生利用率及び最終処分量の推移

## 論点3 市民と行政の役割分担と共汗

### ◇ 政策の推進に当たって市民や行政が行うべきことは？

## 論点4 10年後に目指すべき姿

### ◇ 10年後のあるべき姿やそれが達成された状態を測る指標・目標値は？